

参入市町村名	新潟県上越市（旧浦川原村）	
法人等名（業態名）	ファーストファーム株式会社（農業）	
参入の種別	解除条件付き賃貸借	
農業部門の概要	栽培作物	水稻（酒米）、小家畜（山羊 50 頭、羊 5 頭など）
	経営規模	田 8.2ha、採草放牧地 4.5ha
	雇用者数	正社員 6 人（男 2 人、女 4 人）
地域の概要	<p>【地域の農業の特徴】</p> <p>かつては毎年 200cm 程度の積雪量となる全国有数の豪雪地帯。市の農地 18,200ha のうち水田が 17,100ha を占め、販売額でも 78%を占めるという米に大きく依存した農業。</p> <p>【農業構造】</p> <p>農家数 10,574 戸のうち主業農家は 704 戸。経営耕地 2ha 未満の農家が圧倒的に多いが、10ha 以上の比較的大きな層も増加傾向にある。</p>	
参入の動機、きっかけ、参入の経過など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業従事者の高齢化に伴う「耕作断念農地」の増加や農地・山林等自然資源の崩壊に対して危機感を抱いていた。 ・ 公共事業の更なる減少が予想される中、新規参入事業を模索していた。 ・ 地元の特区研究会において農業参入の可能性を発見し、異業種有志 5 名で夢の実現を図った。 	
農業経営（農業事業）の内容	酒米の栽培と「特区酒」の販売、山羊等の飼養と山羊乳の生産・加工、中小家畜を活用した観光農業	
農産物の販売状況	<p>小家畜副産物（山羊乳）を加工（アイスクリーム・バター等）し自ら販売に取り組んでいる。</p> <p>自社栽培の酒米 100%で醸造したオリジナル吟醸酒・大吟醸酒を地域・季節・数量の限定販売にも取り組んでいる。</p>	
農業参入にあたって苦労したこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業特区第 1 弾認定での参入のため、地域の認知度が低く、計画した事業を地域内で理解してもらうのに時間を要した。 ・ 金融機関からの融資に大変苦労した。 	
現在の課題、問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営規模の拡大と、知名度の向上による販路の拡大と販売収益の増加を図りたい。 ・ 優秀な人材（各部門の担い手）の確保が急務である。 	
農業参入で良かったと思う点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業特区第 1 弾認定での参入のため、地域の認知度が低く、計画した事業を地域内で理解してもらうのに時間を要した。 ・ 金融機関からの融資に大変苦労した。 	
今後の展開方向、行政や関係機関に望むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業への農地の貸し出し規制緩和は慎重に制度化してほしい。 ・ 作業効率や収益性の非常に悪い中山間地域の棚田天水田の耕作放棄地を耕作し、国土保全・環境保全にも寄与しており、国土交通省や環境省の施策として農地リース料の補填補助を望む。 ・ 一般企業への農地貸し出し規制緩和は望ましいが、かなり大規模な優良農地を集積しなければ企業として経営は成り立たない。しかし、著しく荒廃が進んでいる中山間地域の農地を一般企業が好んで集積し、農業参入するとは考えられない。 ・ 地元企業だからこそ農地を守る使命で参入していることを理解してほしい。 	